

評価シート（年度評価）

名古屋能楽堂の管理運営状況

1 基本情報

<所管局:観光文化交流局>

指定管理者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団		
主な業務内容	名古屋能楽堂の管理		
評価対象期間	令和5年4月～令和6年3月	指定管理期間	平成30年4月～令和7年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
1 施設利用	(1) 法令等の遵守	法令等を遵守しているか。	○	
	(2) 利用料金	利用料金は適切に管理されているか。	○	
2 職員体制	(1) 職員体制	職員の配置等体制及び研修が適切に保たれているか。	○	
3 維持管理	(1) 施設の維持管理	建物・設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(2) 舞台設備の維持管理	舞台設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(3) 再委託業務	再委託した業務が適正に履行されているか。	○	
	(4) 備品等物品の管理	備品等物品が適切に管理されているか。	○	
4 サービス	(1) 利用実績	当初の計画通りの利用実績が達成されているか。	○	
	(2) 事業計画実施状況	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(3) 提案事業	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(4) 広報・PRの実施	各種媒体による情報提供が適切に実施されているか。	○	
	(5) 利用者満足度・苦情・要望の把握・対応	利用者の満足度、苦情・要望を受けて、迅速に対応できているか。	○	
5 経費	(1) 執行状況	経費が適切に管理されているか。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等
能楽以外のジャンルの利用が伸びており、能楽堂を初めて利用される方が増えたため、利用方法等のサポートをきめ細やかに行った結果、一度利用された方のリピート率も上昇している。 また、能楽以外でのジャンルの公演の観客が利用者として利用申し込みをされる等、利用促進につながっている点が評価できる。

施設の現状

能楽堂

施設の現状	施設概要							
	能楽その他の伝統芸能の振興を図るとともに、文化活動及び観光の推進に寄与するために設置された施設です。具体的には、舞台等施設の貸出や、能楽の定例公演の開催、展示室の運営等を行っています。							
	市の収支状況(千円)（5年度決算(見込)額）							
	支出			収入				
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金
	95,841	9,326	105,167	101	8,488	96,578	105,167	46,806
	特記事項							
管理運営指標の状況	取組状況							
	指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	利用率(舞台)		%	31.9	57.1	68.6	48.4	
	収支率		%	26.3	36.7	39.3	44.6	
	特記事項							

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費等を記載

評価シート（指定期間を通じた評価）

名古屋市能楽堂における指定管理者の管理運営実績

1 基本情報

＜所管局：觀光文化交流局＞

指定管理者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団		
主な業務内容	名古屋市能楽堂の管理		
評価対象期間	平成30年4月～令和6年3月	指定管理期間	平成30年4月～令和7年3月

2 管理運営状況（評価結果の推移）

評価項目	評価区分						特記事項
	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
1 施設利用							
(1) 法令等の順守	○	○	○	○	○	○	
(2) 利用料金	○	○	○	○	○	○	
2 職員体制							
(1) 職員体制	○	○	○	○	○	○	
3 維持管理							
(1) 施設の維持管理	○	○	○	○	○	○	
(2) 再委託業務	○	○	○	○	○	○	
(3) 備品等物品の管理	○	○	○	○	○	○	
4 サービス							
(1) 利用実績	△	○	—	—	—	○	・会議室利用率、対計画値比 5.2 ポイント減、対前年度比 10.9 ポイント減 (H30)
(2) 事業計画実施状況	○	○	○	○	○	○	
(3) 提案事業	○	○	○	○	○	○	
(4) 広報・PRの実施	○	○	○	○	○	○	
(5) 利用者満足度・苦情・要望の把握・対応	○	○	○	○	○	○	
5 経費							
(1) 執行状況	○	○	○	○	○	○	

年度ごとの総合評価（所管局のコメント・特記事項等）	
平成 30 年度	舞台の平日利用促進に努めた結果、舞台利用率は73.4%で計画値・前年実績値ともに上回った。一方で会議室は会議室検索サイトに登録するなど利用促進に努めたが、利用率は対計画値比5.2ポイント減、対前年度比10.9ポイント減と大幅に減少した。 施設事業では、舞台公開日に実施しているガイドボランティアによる能・狂言解説が好評である。また、年々増加している外国人観光客にも能楽鑑賞をお楽しみいただけるよう、毎月の催し物案内を英語で作成し、定例公演では外国人観光客向けの割引を実施するなど、能楽鑑賞者の裾野を広げる様々な取り組みを行っており、評価できる。
令和元 年度	能楽公演の縮小が続いている状況の中、舞台の利用促進を図るため、能楽以外の使用においても利用者の要望を最大限実現できるよう、技術と経験を持った職員が丁寧にサポートを行った結果、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の1月末時点での舞台利用率は75.2%と計画値・前年実績値ともに上回った。 施設事業では、小中学生が能・狂言に親しみを持つきっかけ作りとして「小中学生芸術鑑賞会」や「夏休み親子能楽堂まつり」を実施し、能楽を次世代に継承していくための取り組みを行った。
令和 2 年度	利用を検討している方や能楽堂に興味を持った方が施設の雰囲気を感じられるように、外観や楽屋を紹介する動画を作成したり、動線や客席の様子が詳細にわかる360度ビューをホームページに掲載して、新型コロナウイルス感染症により来場しにくい状況下での情報発信に努めた。 施設事業は感染症の影響で中止となったものもあるが、全指定席制としたり開場時間を早めるなど感染症対策を講じて、定例公演を始めとした東海ゆかりの能楽の公演を実施した。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。
令和 3 年度	コンサートなど能楽以外での利用も多数あったが、利用者目線で丁寧な対応に努めて次回の利用に繋げ、お客様満足度調査における職員対応の満足度が100%と非常に高い評価を得た。 施設事業の能楽公演では、助成金を活用した効果的な広報を行った結果多数の来場者が訪れることとなり、能楽振興と能楽堂の知名度向上に大きく寄与した。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。
令和 4	助成金を得てJR東海道線車内吊り広告を掲出。市交通局100周年PRパートナ

年度	ーとしてイベントに事業ポスターを掲示したほか、新聞記事広告も行う等、広く一般に向けて広報を行っている。また、コンベンションビューローと提携し、文化だけでなく観光の観点からも国内外に向けた広報に取り組んでいる点が評価できる。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。
令和 5 年度	能楽以外のジャンルの利用が伸びており、能楽堂を初めて利用される方が増えたため、利用方法等のサポートをきめ細やかに行った結果、一度利用された方のリピート率も上昇している。 また、能楽以外でのジャンルの公演の観客が利用者として利用申し込みをされる等、利用促進につながっている点が評価できる。

3 利用状況等

具体的な取組みや成果等
新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、能楽以外の施設利用においても、利用者の要望を最大実現できるようサポートを行い、能楽以外での利用者が増加傾向にある。

4 収支状況等

具体的な取組みや成果等
効率的な施設運営に努め、概ね計画通りの収支率を達成した。

5 利用者の意見や満足度等

利用者の意見や満足度等の内容・推移
指定管理者として組織全体で接遇研修を積極的に行い、利用者目線の管理を行うなどサービス面の強化を図り、利用者満足度調査では概ね「満足」の回答を得た。

6 総合評価

所管局のコメント・特記事項等
施設事業では、小中学生向きの鑑賞会を開催するなど、能楽を次世代に継承していくための取組みを行っている点が評価できる。また、海外旅行客向けに日本語と英語の 2 か国語で SNS での情報発信を行う等、能楽を海外に向けて PR している点も評価できる。